

欠席委員からの質慰問および回答

経営強化プラン進捗状況等について以下のとおり質問します。

【質問1】入院患者の確保について

経営強化プランでは、外来の縮小と入院診療の強化により、地域医療支援病院としての役割強化と経営改善を進める方針が示されています。

一方、進捗資料では、紹介率・逆紹介率は大きく改善しているものの、入院患者数は計画を下回り、経常収支比率・修正医業収支比率も未達となっています。

地域連携の強化が、現時点で十分な入院患者確保や収支改善に結び付いていない要因をどのように分析しているのか、また今後どの部分に重点を置いて改善を図るのか、ご説明ください。（資料5より）

【回答1】

地域連携の強化につきましては、プランの想定を上回る結果となりましたが、紹介、逆紹介は主に外来患者数への影響が大きいものと考えており、延べ入院患者数については、病病連携の取組なども同時に進めているものの、全国的に入院患者数が減っている状況であり、プランの目標値を達成できませんでした。

経常収支比率、修正医業収支比率の数値も未達成となっておりますが、令和7年度は、診療報酬が改定されない状況のなか、人事院勧告に準じた人件費や、物価高騰による経費の増が大きく影響しているものと考えております。

今後については、令和8年度に改定された診療報酬について、最大限メリットを得られるよう検討していくほか、病病連携等の取組を引き続き行い入院患者数の確保に努めます。また、費用の削減についても、医療DXの取組による業務効率化、時間外の削減等の取組を進めてまいります。

【質問2】働き方改革等への対応について

資料6では、働き方改革やタスクシフト・タスクシェアの推進が掲げられる一方で、ドクターズアシスタント等の配置が目標どおり進んでいない項目や、病棟配置に至らなかった職種がある旨の記載があります。

人材確保や配置の面で、計画と実績に差が生じている主な要因は何か、また医師・看護師等の負担軽減を実効的に進めるため、今後どの職種・業務を優先して見直す方針か、ご説明ください。

【回答2】

ドクターズアシスタントの配置につきましては、18人を目標に求人を行い随時面接も実施しているところですが、採用には至っていない状態です。現在16名、25対1の配置は継続できているところですが、求人情報の仕事内容等の記載を工夫するなどをして、引き続き増員できるよう取り組んでおります。

医師の確保については管理者・院長等の大学医局訪問に力を入れていただいております他、民間の人材紹介会社からの採用も積極的に進めており、先に説明しました通り放射線科医1名を採用できました。医師確保は医局人事によるところが大きく難しいところではありますが、引き続き前述の取組を進めてまいります。

看護師につきましては、湖東・湖北地域として看護師数が減少しており、教育施設での定員割れや、介護・老人ホーム、訪問看護ステーションなどへ就職する看護師が増えており、人材の確保に苦戦しているところです。こういった状況を改善するため、令和7年度から県南部や京都の教育機関への訪問や説明会への参加を進めたり、5年・10年先を見据えて中高生を対象としたキャリア説明会を実施しております。また、滋賀県立大学さんと連携し、当院の看護師を授業へ派遣したり、インターンシップやアルバイトの受入れ等の対策を実施しております。

臨床検査技師および管理栄養士の病棟配置については、配置までには至っておりませんが、各所属にて業務効率化を進めており、病棟での業務時間は伸びております。常時配置のための準備段階として、一部の病棟へ半日配置による問題点の洗い出しや、血液浄化センターでの一部業務のタスクシフトなどを実行しており、令和7年度中の主要病棟への配置を実現するための準備を進めております。

一部メディカルスタッフが不足している所属もありますので、今後は適正な人員配置を検討し、人材確保に努めてまいります。また、現在試用的に臨床検査技師を病棟配置をしておりますので、その結果をもってこういった業務の見直し、タスクシフト・タスクシェアを進めるかを検討してまいります。